



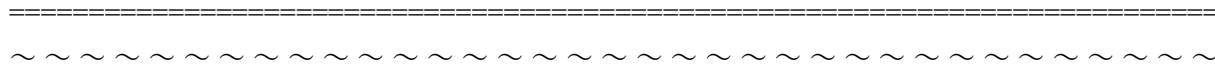
FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 748 号 (一部抜粋)



平成 30 年 9 月 27 日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 国際規格「ISO22000」の改訂について ◆



FAMIC では国際標準化機構 (ISO) の TC34/SC17 (食品安全のためのマネジメントシステム) などの国内審議団体として、ISO 規格へ国内意見を的確に反映させるため、国内意見を取りまとめ ISO 事務局へ提出するとともに、専門家会合への派遣等の活動を行なっています。今回は、2018 年 6 月に改訂された ISO22000 について紹介します。

ISO22000 (食品安全マネジメントシステム-フードチェーンのあらゆる組織に対する要求事項) は、原材料の生産から食品として消費されるまでのフードチェーンの各段階における食品の安全性を確保することを目的に、2005 年 9 月に発行された規格で、Codex 委員会策定の「HACCP システム及びその適用のためのガイドライン」やマネジメントシステムの要素などを取り入れたものです。

この規格の見直しについて、これまでは普及途上で現場の混乱が懸念されることとして見送られてきましたが、2012 年に ISO がマネジメントシステムの上位構造 (HLS:High Level Structure) を公表し、ISO22000 もこの HLS の様式に従い改訂する必要があることなどが背景となり、2013 年 11 月の第 5 回 ISO/TC34/SC17 総会において改訂着手が決議されました。

その後、2014 年 9 月から 2017 年 10 月まで計 7 回の専門家会合が開かれ、2018 年 2 月の最終国際規格案投票を経て、2018 年 6 月に改訂版 (ISO22000:2018) が発行されました。

これを受け、今後、同規格がよりいっそう普及することで、食品の安全性向上が期待されます。